若者を再び戦場へ送らないために

「戦争法案」を廃案に！

日本共産党 市議会議員団

戦争法案の衆院強行採決に抗議し、市役所前でピース・スタンディングを行う日本共産党市議団

安全保障法案は違憲立法

渡辺有子議員

渡辺有子議員は、いま国会で審議されている「安全保障関連法案」（戦争法案）にたいする市長の認識について質問しました。

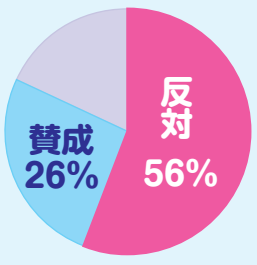
日本を「海外で戦争する国」に変える政府方針の大転換であるにもかかわらず、国民への説明が不十分なまま、法律の制定・改廃によって事実上の憲法改定が進められようとしています。

渡辺有子議員は、「安全保障関連法案」は憲法を蹂躙する違憲立法であり、どの世論調査でも、この法案に「反対」、今国会での成立に「反対」という声が「賛成」を大きく上回っており、廃案以外にないとし、市長の認識をただしました。

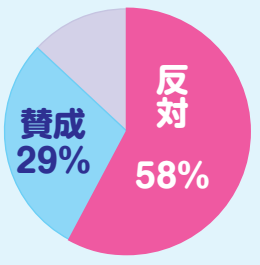
篠田市長は「国の最高法規である憲法を充分尊重し、法案整備を行っていく必要がある」とし、法案の成立に関しては「国民や国際社会に対して丁寧に説明し、充分な議論をつくしたうえで判断されるべきだと考える」と答弁しました。

どの世論調査でも「反対」が過半数

◆戦争法案に……

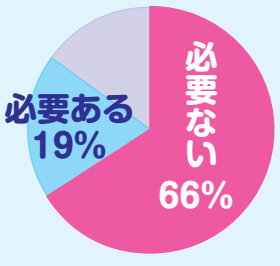


朝日新聞(7/11,12実施)

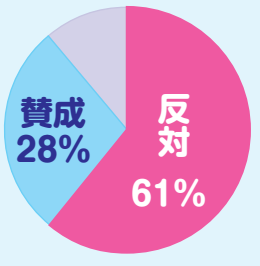


毎日新聞(7/4,5実施)

◆今国会での成立は……



朝日新聞(7/11,12実施)



毎日新聞(7/4,5実施)

野本孝子議員

民主・市民連合などと共同提案
戦争法案反対の意見書案

日本共産党議員団は、市議会の全会派と無所属議員に「安全保障関連法案の今国会での成立反対を求める意見書案」を示し、全会一致での採択をめざしました。

同意見書案は、日本共産党市議団、民主にいがた、市民連合、無所属議員2人の共同提案となり、7月2日の本会議で野本孝子議員が趣旨説明をおこないました。

しかし、自民党系3会派と公明党、無所属議員の一部が圧倒的多数の市民の声を無視して反対したため、不採択となりました。

自民・公明などの反対で不採択に

■日本共産党市議団の所属常任委員会

総務常任委員会　野本孝子議員（委員長）・渡辺有子議員
文教経済常任委員会　倉茂政樹議員
市民厚生常任委員会　飯塚孝子議員（副委員長）・平あや子議員
環境建設常任委員会　五十嵐完二議員

●主な議案、請願・陳情に対する各会派の賛否

	日本共産党市議団	新市民クラブ	保守市民クラブ	民主にいがた	新潟市政クラブ	市民連合	新潟市公明党	会派に属さない議員
一般会計補正予算案（6／12提出）	●	○	○	○	○	○	○	○1人●3人
安全保障関連法案の今国会での成立反対を求める意見書案	○	●	●	○	●	○	●	○2人●2人
マイナンバー制度の通知の中止と制度の廃止を求める意見書案	○	●	●	●	●	●	●	○1人●3人
BRT予算の執行停止や住民投票の実施を求める陳情6件	○	●	○3人●7人	●	●	○3人●1人	●	○3人●1人
BRT計画の中止や白紙撤回を求める陳情5件	○	●	○2人●8人	●	●	○3人●1人	●	○3人●1人

※○は賛成、●は反対。　保守市民クラブ１人欠席